【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年3月30日(2006.3.30)

【公開番号】特開2000-244908(P2000-244908A)
【公開日】平成12年9月8日(2000.9.8)
【出願番号】特願平11-39582
【国際特許分類】
　Ｈ０４Ｎ　7/26　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　7/13　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年2月14日(2006.2.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
　【請求項１】　複数のオブジェクト毎に符号化及び多重化されたビットストリームを各オブジェクトストリームに分離するとともに、上記各オブジェクトストリームを復号化した後で合成するビットストリーム復号化装置であって、
　上記各オブジェクトストリームを復号化する際の精度を複数段階に制御可能にしたことを特徴とするビットストリーム復号化装置。
　【請求項２】　上記オブジェクトストリームは、回線を介して入力された放送ストリームであることを特徴とする請求項１に記載のビットストリーム復号化装置。
　【請求項３】　上記オブジェクトストリームは、ＤＶＤを含むパッケージメディアより得られたストリームであることを特徴とする請求項１に記載のビットストリーム復号化装置。
　【請求項４】　複数のオブジェクト毎に符号化され、多重化されたビットストリームを復号化するビットストリーム復号化装置であって、
　上記多重化されたビットストリームを各オブジェクトストリームに分離する分離手段と、上記各オブジェクトストリームを各々復号化する復号化手段と、　復号化された各オブジェクトを合成する合成手段とを備え、
　上記各復号化手段のうち、少なくとも２つの復号化手段は１つのグループを形成し、グループ内で優先順位を付され、かつ優先順位の低い順に少なくとも１つの復号化を行わないことを特徴とするビットストリーム復号化装置。
　【請求項５】　上記グループが、ビデオオブジェクトの復号化を行う手段からなることを特徴とする請求項４に記載のビットストリーム復号化装置。
　【請求項６】　上記グループが、オーディオオブジェクトの復号化を行う手段からなることを特徴とする請求項４に記載のビットストリーム復号化装置。
　【請求項７】　上記グループが、シーン記述オブジェクトの復号化を行う手段からなることを特徴とする請求項４に記載のビットストリーム復号化装置。
　【請求項８】　上記グループが、ビデオオブジェクト復号化を行う手段およびこれに各々付随するオーディオ復号化を行う手段からなることを特徴とする請求項４に記載のビットストリーム復号化装置。
　【請求項９】　複数のオブジェクト毎に符号化及び多重化されたビットストリームを各オブジェクトストリームに分離するとともに、上記各オブジェクトストリームを復号化し、上記復号化された各オブジェクトストリームを合成するビットストリーム復号化方法

であって、
上記各オブジェクトストリームを復号化する際の精度を複数段階に制御可能なことを特徴とするビットストリーム復号化方法。
【請求項１０】 上記オブジェクトストリームは、放送されたストリームであることを特徴とする請求項９に記載のビットストリーム復号化方法。
【請求項１１】 上記オブジェクトストリームは、ＤＶＤを含むパッケージメディアにより得られたストリームであることを特徴とする請求項９に記載のビットストリーム復号化方法。
【請求項１２】 請求項１～８の何れか１項に記載のビットストリーム復号化装置を構成する各手段としてコンピュータを機能させるためのプログラムを格納したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。
【請求項１３】 請求項９～１１の何れか１項に記載のビットストリーム復号化方法の手順をコンピュータに実行させるためのプログラムを格納したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
【課題を解決するための手段】
本発明のビットストリーム復号化装置は、複数のオブジェクト毎に符号化及び多重化されたビットストリームを各オブジェクトストリームに分離するとともに、上記各オブジェクトストリームを復号化した後で合成するビットストリーム復号化装置であって、上記各オブジェクトストリームを復号化する際の精度を複数段階に制御可能にしたことを特徴としている。
また、本発明のビットストリーム復号化装置の他の特徴とするところは、上記オブジェクトストリームは、回線を介して入力された放送ストリームであることを特徴としている。
また、本発明のビットストリーム復号化装置のその他の特徴とするところは、上記オブジェクトストリームは、ＤＶＤを含むパッケージメディアより得られたストリームであることを特徴としている。
また、本発明のビットストリーム復号化装置のその他の特徴とするところは、複数のオブジェクト毎に符号化され、多重化されたビットストリームを復号化するビットストリーム復号化装置であって、上記多重化されたビットストリームを各オブジェクトストリームに分離する分離手段と、上記各オブジェクトストリームを各々復号化する復号化手段と、復号化された各オブジェクトを合成する合成手段とを備え、上記各復号化手段のうち、少なくとも２つの復号化手段は１つのグループを形成し、グループ内で優先順位を付され、かつ優先順位の低い順に少なくとも１つの復号化を行わないことを特徴としている。
また、本発明のビットストリーム復号化装置のその他の特徴とするところは、上記グループが、ビデオオブジェクトの復号化を行う手段からなることを特徴としている。
また、本発明のビットストリーム復号化装置のその他の特徴とするところは、上記グループが、オーディオオブジェクトの復号化を行う手段からなることを特徴としている。
また、本発明のビットストリーム復号化装置のその他の特徴とするところは、上記グループが、シーン記述オブジェクトの復号化を行う手段からなることを特徴としている。
また、本発明のビットストリーム復号化装置のその他の特徴とするところは、上記グループが、ビデオオブジェクト復号化を行う手段およびこれに各々付随するオーディオ復号化を行う手段からなることを特徴としている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
本発明の記憶媒体は、上記ビットストリーム復号化装置を構成する各手段としてコンピュータを機能させるためのプログラムを格納したことを特徴としている。
また、本発明の記憶媒体の他の特徴とするところは、上記ビットストリーム復号化方法の手順をコンピュータに実行させるためのプログラムを格納したことを特徴としている。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
また、１０５～１０７は分離された各ＶＯＰ（Video Object Plane）信号を復号する復号化手段、１０８はシーン記述を復号するシーン記述復号化手段、１０９はオーディオ信号や各ＶＯＰを合成する合成手段である。